

日本語学会第 138 回大会 プログラム

会 長 影山 太郎
大会運営委員長 井上 優
大会実行委員長 長谷川 信子

期 日： 2009 年 6 月 20 日(土)・6 月 21 日(日)

会 場： 神田外語大学 〒261-0014 千葉市美浜区若葉 1-4-1 (会場案内等は 5-7 ページ)

TEL：043-273-2971/2357 (大会実行委員長)

FAX：043-273-2971 (共用につき宛名必須)

E-mail：kanda-gg@kanda.kuis.ac.jp

※駐車場の利用はできません。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙はできません。

学会ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ljsj2/>) に大会のより詳しい情報が掲載されています。

.....

—— 第 1 日 (6 月 20 日) ——

10:30-13:00	委員会 (委員の方はご出席ください。)	1 号館 3 階 大会議室
13:30-18:00	口頭発表 (詳細は 2-3 ページ), ワークショップ (詳細は 4 ページ)	2 号館 1-3 階 3 号館 2-3 階
18:10-20:00	懇親会 (一般 5,000 円, 学生 3,000 円)	4 号館 1 階 ラパス

—— 第 2 日 (6 月 21 日) ——

10:00-10:10	挨拶 影山 太郎 (会長), 石井 米雄 (神田外語大学学術顧問)	4 号館 1 階 101 教室 (2 階からも入室可)
10:10-11:30	会長就任講演 「言語の構造制約と叙述機能」 影山 太郎 (人間文化研究機構) (新会長紹介: 井上 和子 (神田外語大学名誉教授))	
11:30-13:00	ポスター発表 (詳細は 4 ページ)	4 号館 2 階
13:00-13:30	会員総会 (会員の方はご出席ください。)	4 号館 1 階 101 教室 (2 階からも入室可)
13:30-16:00	公開シンポジウム「文の周縁部の構造と日本語」 司会 長谷川 信子 (神田外語大学) “The Cartography of Syntactic Structures: Locality and Freezing Effects” (統語構造のカートグラフィー: 局所性と凍結効果) Luigi RIZZI (University of Siena) 「談話文法」 井上 和子 (神田外語大学名誉教授) 「主語のカートグラフィー」 遠藤 喜雄 (神田外語大学) 「文タイプ (Force) と人称制限」 長谷川 信子 (神田外語大学)	

※会長就任講演・公開シンポジウムはどなたでも参加できます。

口頭発表・ワークショップ（6月20日(土) 13:30-18:00）（2号館1-3階, 3号館2-3階）

	A会場（3号館3階301講義室） 司会：浦啓之（前半）	B会場（3号館3階302講義室） 司会：岸田文隆（前半）
13:30-14:00	小林 ゆきの 日本語軽動詞構文の多重主要部分分析	小川 典子 指示詞由来の間投詞「あの（一）」・「その（一）」について—情報（話題）の「所有者」の観点から—
14:05-14:35	猪熊 作巳 日本語のいわゆる「代名詞—名詞」構造と（代）名詞句の内部構造について	野村 純也 日本語の度量句を伴う場所項
14:45-15:15	伊藤 祐輝 日本語における DegP 投射—過剰表現の分析を通じて—	韓 京娥 日本語の「～ていく/くる」と韓国語の「-어 가다/오다 -e kata/ota」の意味機能—一人称を中心に—
15:20-15:50	KOBAYASHI Shigeyuki On the phonological reduction and diffusion of the nominative case particle <i>No</i> in Old Japanese	呉 春姫 中国朝鮮語延吉方言の敬語—中称（hao 体）を中心に—
15:50-16:10	(休憩)	(休憩)
16:10-18:00	ワークショップ1 ジョン・ホイットマン, 柳田 優子, 西山 國雄 古代日本語の形態統語論的变化— 一名詞化活用形の変遷とその統語的帰結— (詳細は4ページ)	ワークショップ2 堀江 薫, 金 廷珉, 文 彰鶴, 平 香織, 塚本 秀樹, 生越 直樹 日韓語の文末形式の対照研究の新展開— 構文論的・語用論的機能の対比を中心に— (詳細は4ページ)

	C会場（3号館2階202講義室） 司会：佐久間 淳一, 佐藤 博史（前半） 西村 義樹（後半）	D会場（3号館2階203講義室） 司会：町田 和彦（前半）, 小林 正人（後半）
13:30-14:00	坂田 晴奈 フィンランド語のA不定詞変格形の意味機能について	河内 一博 Sidaama (Sidamo) 語の“目的語”人称接尾辞によって表される文法関係
14:05-14:35	長崎 郁 コリマ・ユカギール語の関係節における3種の分詞の用法	山部 順治 オリア語における, 二重他動詞構文と, 他動詞の使役構文
14:45-15:15	柳村 裕 ラオ語ビエンチャン方言の声調のコンテクスト間変異—末尾位置と非末尾位置の比較—	今村 泰也 ヒンディー語・ウルドゥー語の rakhnaa (put/keep) による所有表現
15:20-15:50	高橋 清子 タイ語の機能語 <i>hây</i> の意味変化の方向性	吉岡 乾 北パキスタン諸言語での名詞反響
15:50-16:10	(休憩)	
16:10-16:40	スチンガルラ モンゴル語の補助動詞《ab-》の意味について	南本 徹 ギリシア語の方言分岐と音変化との間の相対年代
16:45-17:15	山崎 雅人 現代ウイグル語の文法化助動詞にみる意図性の反映—baq-/kör- と al-/bol—	山崎 瑤子 リトアニア語における n-語幹名詞の語末音調について
17:20-17:50		三村 竜之 ノルド諸語から見たストレスアクセント—アクセント類型論の試み—

	E会場 (2号館3階301講義室) 司会: 加藤 重広 (前半)	F会場 (2号館2階201講義室) 司会: 広瀬 友紀 (前半), 時本 真吾 (後半)
13:30-14:00	堀田 浩司 三宅島坪田方言の名詞アクセント	MENG Hairong, Tadao MIYAMOTO, Naoyuki ONO, Peter John WANNER, Takeshi NAKAMOTO, Heiko NARROG Code switching in a Japanese-Chinese bilingual infant: A study on language dominance
14:05-14:35	田中 真一 大阪方言外来語のアクセントと式について	江村 健介, 遊佐 典昭, 木村 直樹, コルネリア・ ダニエラ・ルブシヤ, 山口 早苗, 萩原 裕子 英語イマージョンプログラムにおける日本語を母語 とする幼児による日本語の名詞複合語の理解
14:45-15:15	麻生 玲子 南琉球八重山波照間方言における格標識と語順	TAMAOKA Katsuo, ASANO Michiko, MIYAOKA Yayoi, YOKOSAWA Kazuhiko Pre- and post-head phrasal parsing of canonical and scrambled Japanese active sentences measured by the eye-tracking method
15:20-15:50	下地 理則 南琉球宮古伊良部島方言における認識モダリティ と m 語尾終止形について	坂本 勉, 安永 大地 ガ格三連続文の処理に有生性が及ぼす影響について
15:50-16:10	(休憩)	(休憩)
16:10-16:40	ワークショップ3 岩本 遠億, 井本 亮, 上原 由美子, 岩田 彩志 概念構造と他領域との接点 —事象投射理論の可能性— (16:10-18:00, 詳細は4ページ)	太田 真理, 福井 直樹, 酒井 邦嘉 埋め込み構造の処理への右尾状核頭の関与 —fMRI を用いた研究—
16:45-17:15		犬伏 知生, 飯島 和樹, 小泉 政利, 酒井 邦嘉 日本語二重目的語文の脳内処理における基本語順 の効果
17:20-17:50		金丸 一郎, 広瀬 友紀, 伊藤 たかね 再解析は最後の手段か?—日本語目的語コント ロール構文における再帰代名詞の処理過程—

	G会場 (2号館1階101講義室) 司会: 吉村 あき子 (前半), 小野 尚之 (後半)
13:30-14:00	王 慶 NP と Event を分配する量化表現 dou (都)
14:05-14:35	田中 拓郎 Negative Bias Nominative の意味解釈
14:45-15:15	小淵 Philip 麻菜 「しか」の意味及び否定との共起理由
15:20-15:50	
15:50-16:10	(休憩)
16:10-16:40	三村 仁彦 二重目的語構文とフェイズ単位での数量詞作用域 の決定
16:45-17:15	柴田 義行 長距離および逆行束縛について
17:20-17:50	秋庭 大悟 認知的モダリティの制御原理 (the ECP) の本質に ついて

【お願い】

研究発表会場となる2号館, 3号館では, 大会と並行して大学の授業等もおこなわれます。 来場や会場移動の際は, 授業の支障にならないようご協力をお願いいたします。

■会員企画のワークショップ 6月20日(土) 16:10-18:00 (2号館3階, 3号館3階)

A会場 (3号館3階 301講義室)	ワークショップ1 古代日本語の形態統語論的变化—名詞化活用形の変遷とその統語的帰結— 企画・司会 ジョン・ホイットマン
	連用形・終止形とその統語論的再建 柳田 優子
	節の名詞化としての連体形—共時的及び通時的分析— 西山 國雄
B会場 (3号館3階 302講義室)	ワークショップ2 日韓語の文末形式の対照研究の新展開—構文論的・語用論的機能の対比を中心に— 企画 堀江 薫 司会 塚本 秀樹 指定討論者 生越 直樹
	「のだ」と「것이다 (KES-ITA)」の談話機能の対比 金 廷珉
	文末の文法形式に関する日韓対照考察 —知識表明と現象描写の概念を中心として— 文 彰鶴
E会場 (2号館3階 301講義室)	ワークショップ3 概念構造と他領域との接点—事象投射理論の可能性— 企画・司会 岩本 遠億
	事象投射理論の概要 岩本 遠億
	空間表示との接点—両義的限界性の計算— 岩本 遠億
	語用論との接点—期待値を表示する構造— 井本 亮
	構文文法との接点—状態化の類型— 上原 由美子
	コメント 岩田 彩志

■ポスター発表 6月21日(日) 11:30-13:00 (4号館2階)

H会場 (4号館2階 203講義室)	澤田 淳 提示動詞の構文パターンと文法化
	鈴木 大介 no sooner/hardly/scarcely~than/when/before 構文の種類と意味機能
	藤井 聖子 BCCWJ コーパスを用いた引用「ト」構文の分析—副詞節的外付け用法を中心に—
I会場 (4号館2階 204講義室)	藤原 崇 統語プライミングを用いた、主格の「が、の交替」を許容する文の産出における助詞「が」、 「の」の出現頻度の調査
	水本 豪 幼児の述部前置型単一項文の理解に及ぼす作動記憶容量の影響

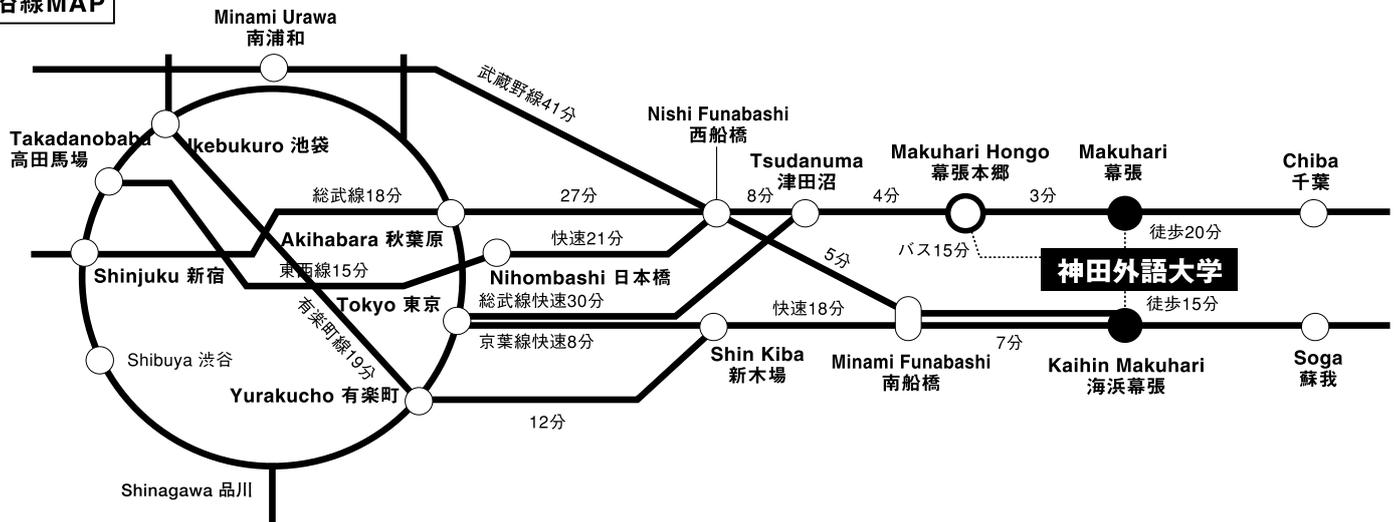
お知らせ

次回大会 (139回大会, 神戸大学) から「大会2日目 午前」をワークショップのための時間とします。会員の皆様からの積極的な応募をお待ちしております。

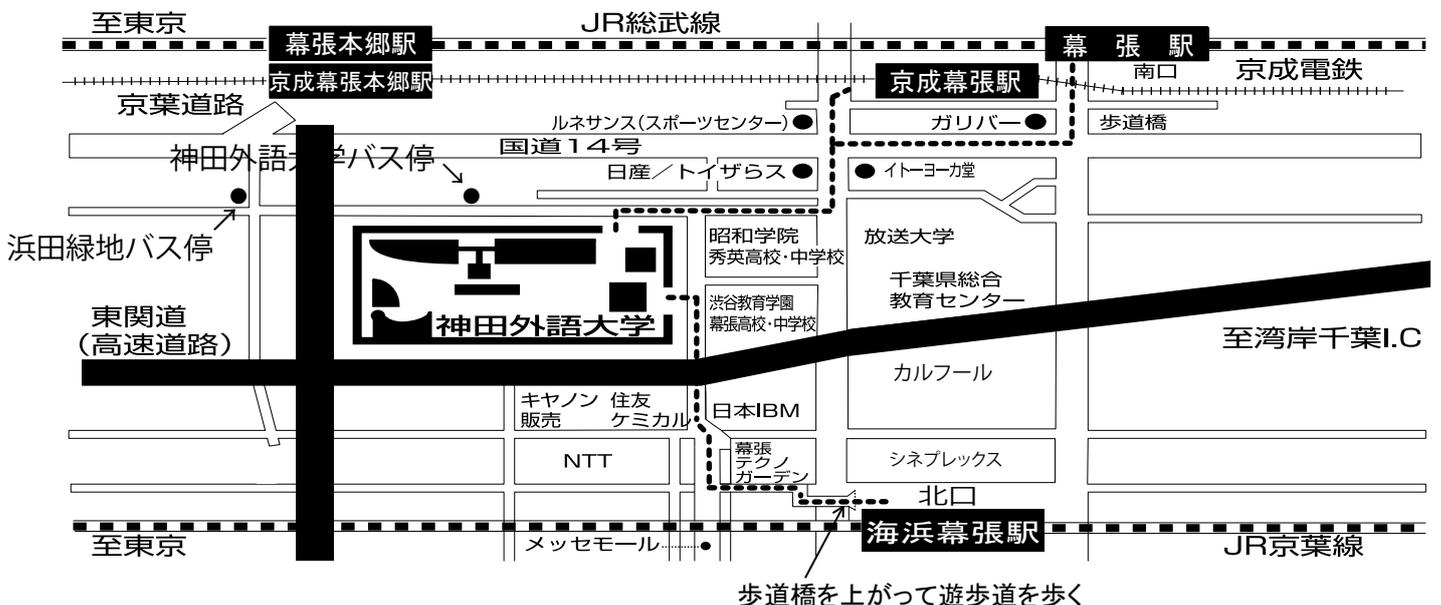
《主な交通機関と所要時間》

- JR 京葉線「海浜幕張」駅下車，(1) 徒歩約15分。(2) バス利用約5分，北口バスターミナル3番 [幕22] 神田外語大学・コロンブスシティ経由「幕張本郷駅」行き乗車，「神田外語大学」下車。
- JR 総武線，京成電鉄「幕張本郷」駅下車，(1) バス利用約15分，南口バスターミナル6番 [幕21] 「幕張学園循環」乗車，「神田外語大学」下車。(2) バス利用約8分，南口バスターミナル6番 [幕22] 「コロンブスシティ経由 海浜幕張駅」行き乗車，「浜田緑地」下車，進行方向に向かって徒歩2分。「神田外語大学」を経由しませんのでご注意ください。
- JR 総武線「幕張」駅下車，徒歩約20分。 ●京成電鉄「幕張」駅下車，徒歩約15分。
- 羽田空港より，エアポートリムジンバスが「海浜幕張」駅，および周辺ホテルまで運行しております。詳しくは次のページをご覧ください。 http://limousinebus.co.jp/timetable/fla_haneda.html

沿線MAP



周辺地図



バス時刻表

【行き】

<海浜幕張駅から>

停留所: 海浜幕張駅北口 3 番	
[幕 2 2] 神田外語大学・ コロンブスシティ経由 「幕張本郷駅」行き	
7時から20時	05 25 45
21時	05

※神田外語大学から海浜幕張駅
行きのバスはございません。
お帰りの際はどちらのバス停
からご乗車になっても幕張本郷
駅に行きます。

<幕張本郷駅から>

停留所: 幕張本郷駅南口 6 番	
[幕 2 1] 市町村アカデミー・ 神田外語大学方面「幕張学園循環」	
7時	30
8時から9時	00 30
10時	20
11時から15時	10
16時	00
17時	00 40
18時	10 40
19時	20

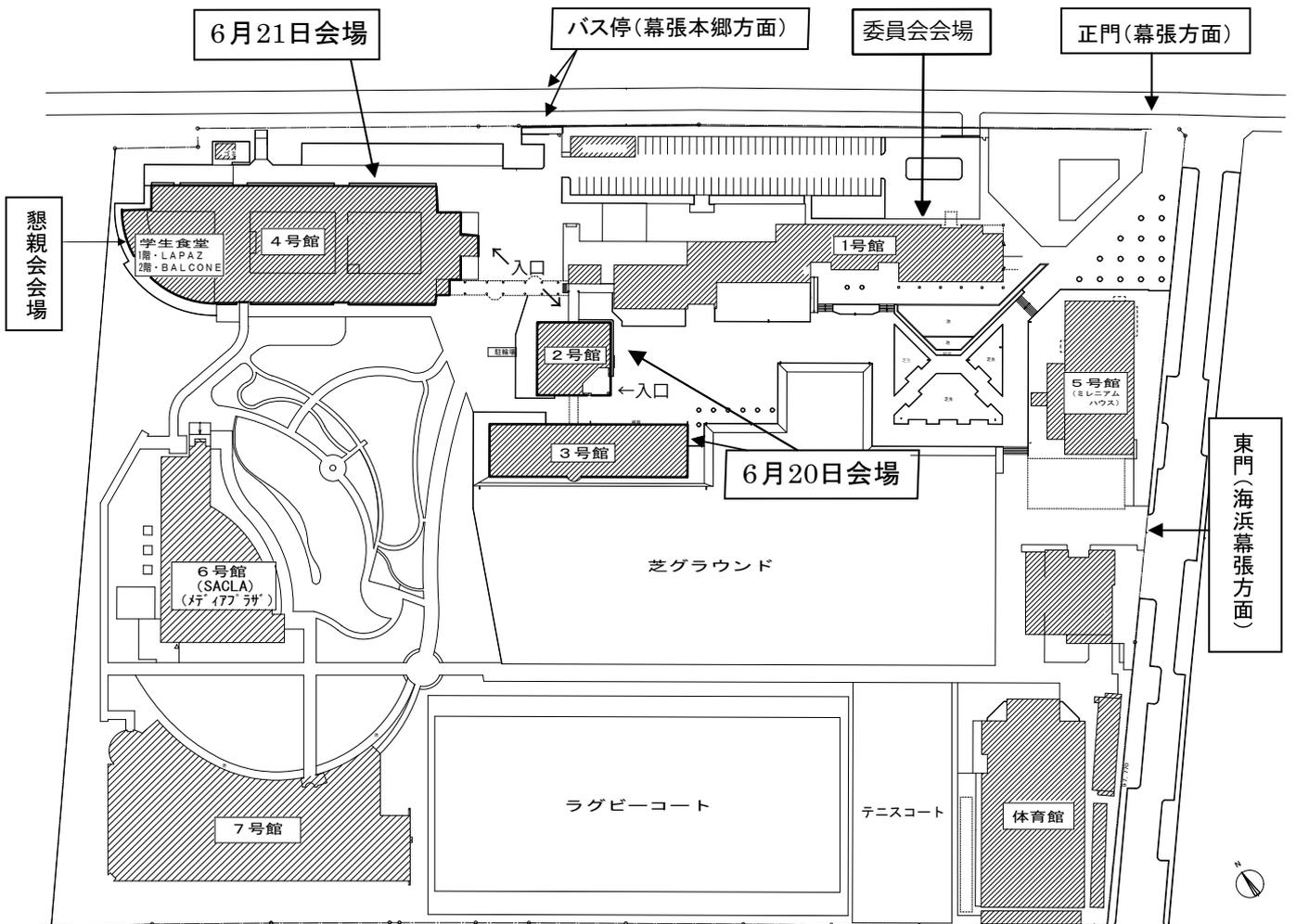
停留所: 幕張本郷駅南口 6 番	
[幕 2 2] コロンブスシティ経由 「海浜幕張駅」行き <「浜田緑地」下車>	
7時から20時	15 35 55
21時	15

【帰り】

停留所: 神田外語大学	
[幕 2 1] 「幕張学園循環」 <「幕張本郷駅」行き>	
7時	42
8時から9時	12 42
10時	32
11時から15時	22
16時	12
17時	12 52
18時	22 52
19時	32

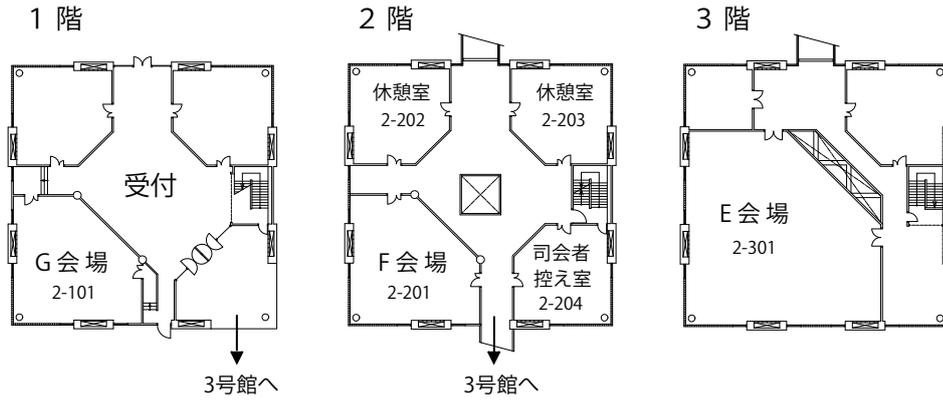
停留所: 神田外語大学	
[幕 2 2] コロンブスシティ経由 「幕張本郷駅」行き	
7時から20時	10 30 50
21時	10

【構内案内図】

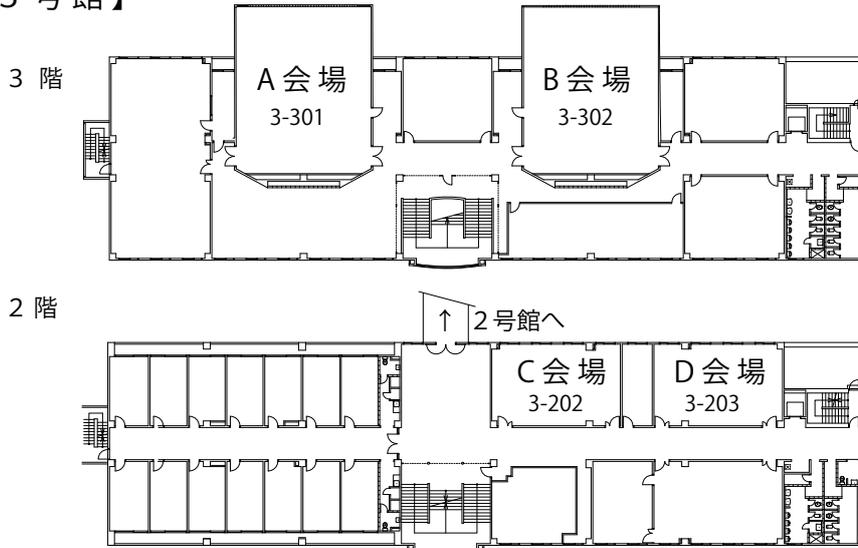


6月20日(土)会場 2号館1~3階, 3号館2~3階

【2号館】



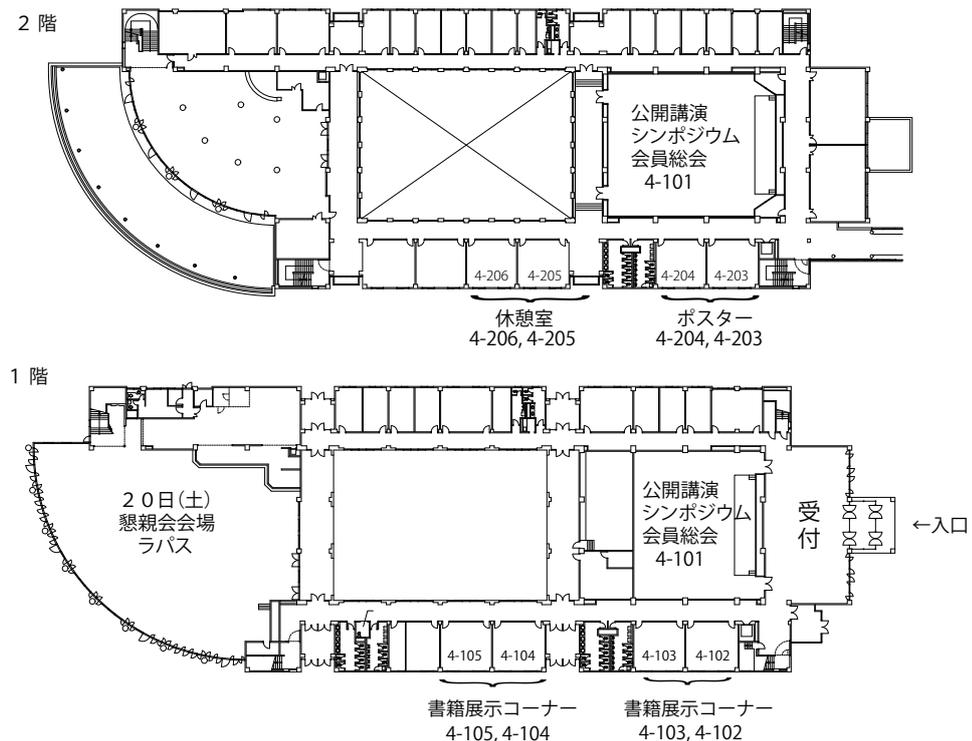
【3号館】



※書籍展示コーナーは、3号館1階となります。

6月21日(日)会場 4号館1~2階

【4号館】



お知らせ

◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**6月5日(金)までに**保育室担当宛にメールでお申し込みください(締切厳守)。

- ・利用可能時間： 6月20日(土) 13:00-18:30 6月21日(日) 9:30-16:30
- ・料金： お子様1人1時間につき500円

◆大会予稿集の販売

- ・大会予稿集は、大会当日に受付にて販売します(1部2,000円)。大会前の予約・購入はできません。
- ・大会終了後に残部がある場合は、大会予稿集の郵送を受け付けます。郵送ご希望の方は、「部数、送付先」を明記の上、学会事務局までお申し込みください(送料込みで1部2,500円)。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金ください。

◆同封はがきによる申し込み

下記の申し込みは、同封のはがきで**6月1日(月)(必着)までに**お願いします。(人数把握のため事前申し込みにご協力ください。)

- ・第1日の懇親会への参加(一般5,000円、学生3,000円)
- ・第2日のお弁当の注文(1,000円)(会場周辺に食堂・コンビニ等はありません。弁当販売は13時に終了。)
- ・車椅子の利用(事前の申し込みがあった場合、若干数を用意いたします。)

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記し切手を貼った返信用封筒を同封の上、**6月1日(月)(必着)までに**学会事務局までお申し込みください。

◆書籍展示コーナー

書籍展示コーナーは、3号館1階(1日目)、4号館1階(2日目)です。

◆資料展示コーナー

資料展示用の机を用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができます。(場所は当日受付にてご確認ください。)

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務局までお申し込みください。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金ください。

※在庫情報は学会ホームページをごらんください。

- ・大会予稿集：「研究大会について」>「予稿集のバックナンバー」
- ・『言語研究』：「学会誌『言語研究』について」>「バックナンバーの購入案内」

次回大会予告(2009年秋季大会：第139回大会)

場所： 神戸大学(神戸市)

日程： 11月28日(土) 口頭発表 (ワークショップは2日目午前になりますのでご注意ください)
11月29日(日) ワークショップ、ポスター発表、公開シンポジウム

大会までのスケジュール：

- ・発表応募締め切り **2009年8月20日(木)**(必着)(『言語研究』、学会ホームページ掲載の規定に従い、学会事務局までご応募ください。)
- ・採否通知 9月上旬
- ・大会発表要旨(学会ホームページ、『言語研究』掲載)締め切り 10月1日(木)(予定)
- ・予稿集原稿締め切り 10月12日(月)(予定)

お問い合わせ・お申し込み先

日本言語学会事務局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075)415-3661, Fax. (075)415-3662, E-mail: lsj@nacos.com